

「外国につながる生徒」に関する職員研修会を開催しました

【令和4年12月16日】

今年度、外国につながる生徒たちが全校生徒の半数を超える中で、改めて日本語指導が必要な生徒の理解を深めるための職員研修会を開催しました。講師には、本校の指導助言にあたっていただいている小島^{よしみ}祥美先生(東京外国語大学准教授)をお招きし、本校職員のほか県教育委員会等からも参加がありました。

小島先生からは、疑似体験を通じた授業時に生徒が抱える困難についての理解や、日本語及び母語による作文の分析から、彼らの成長の様子や今後の可能性についての説明がありました。

また、今年度の1年次国際クラス担任で、「日本語」の授業も担当している国語科・安達^{さとこ}聡子教諭から、複数の言語環境で育つ彼らの強みを生かすことで興味関心や意欲を高めることができ、自分のこれまでの教科指導を見直し、他の授業の改善にもつながったという報告もあり、多くの参加者の共感を得ました。

今回の研修会を通じて、外国につながる生徒たちの自己肯定感を育み、生きる力を身に付けさせることで、社会的自立を促すことができるよう、意識を新たに、一層のサポートに努めていきます。

